

資料2 八幡野地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

課題・対応策		短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	堤防整備 (防潮堤)	・レベル1津波による、住居地区への浸水はないことが想定されている。				
	避難場所 (高台避難)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所 八幡野小学校、対島中学校、伊東高校城ヶ崎分校 ・避難所 八幡野幼稚園、八幡野コミュニティセンター ・下町（45世帯）に避難タワー 			・津波避難計画を作成する中で、必要性について検討	
ソフト対策	避難路	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション、ダイビングショップ、お墓のところに避難路の整備 ・テンノウサンの坂（避難路）が急なため手すり必要 ・避難路が狭く危険 		<ul style="list-style-type: none"> ・マンション、ダイビングショップ、お墓のところに避難路の整備 ・テンノウサンの坂（避難路）が急なため手すり必要 ・避難路が狭く危険 		・公道であれば可能
	避難路 (がけ崩れ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震で避難路がふさがれないように ・砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業の活用 ・土砂災害防止法による区域指定、警戒避難体制の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地崩壊対策事業実施中 (八幡野向町) ・土砂災害（特別）警戒区域指定済み 		
	避難路 (表示)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難路の表示 →避難する方向がわかるような案内図が必要 →道路に大きな矢印（避難方向を示す）を記入 		<ul style="list-style-type: none"> ・避難路の表示 →避難する方向がわかるような案内図が必要 →道路に大きな矢印（避難方向を示す）を記入 		
	情報連絡 (防災情報)	<ul style="list-style-type: none"> ・津波ハザードマップの配布 ・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成 ・避難路マップの作成 ・Jアラート（全国瞬時警報システム） ・同報無線（防災行政無線） ・伊東市メールマガジン ・テレビ（テロップ）、ラジオ 		<ul style="list-style-type: none"> ・津波ハザードマップの配布 ・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成 ・避難路マップの作成 ・Jアラート（全国瞬時警報システム） ・同報無線（防災行政無線） ・伊東市メールマガジン ・テレビ（テロップ）、ラジオ 		
	情報連絡 (安否確認)	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害用伝言ダイヤル171」を活用した安否確認 ・家族間・近所であらかじめ取り決め 		<ul style="list-style-type: none"> ・「災害用伝言ダイヤル171」を活用した安否確認 ・家族間・近所であらかじめ取り決め 		
	災害弱者対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者支援計画（個別計画）の策定 		<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者支援計画（個別計画）の策定 		
	観光客対策	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客への避難の呼びかけ →イベント実行委員会がマイクで案内 →イベント会場に避難経路の表示がある ・避難用通行路を確保したイベント計画 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客への避難の呼びかけ →イベント実行委員会がマイクで案内 →イベント会場に避難経路の表示がある ・避難用通行路を確保したイベント計画 		